

第2次山形県循環型社会形成推進計画（ごみゼロやまがた推進プラン）【中間見直し版】平成31年度事業展開（未定稿）

策定：平成24年3月 計画期間：平成23年度～平成32年度（10年間） 中間見直し：平成28年3月

1 基本理念と基本目標

2 基本的数値目標

3 施策の柱

4 平成31年度の主な取り組み内容（〔 〕内は予定事業量）

5 計画の推進

基本理念

県民協働で、低炭素社会に貢献するごみゼロやまがたの実現

基本目標

全国「ごみ」の少ない県を目指して

リサイクル等の循環型産業を振興

「ごみゼロやまがた」とは、
○廃棄物全体の排出量の最小化
○再生資源利用の最大化
○環境への負荷の最小化が実現している将来の山形県の姿を表現したものだ。

具体的な数値目標
①ごみ（一般廃棄物）の最終処分量ゼロ
②産業廃棄物の最終処分量ゼロ

1 一般廃棄物

【排出量】
H32 目標：355 千 t

- ◆うち事業系ごみの排出量
H32 目標：89 千 t
- ◆家庭系ごみ排出量（1人1日当たり）
H32 目標：430g

【リサイクル率】
H32 目標：27%

【最終処分量】
H32 目標：38 千 t

2 産業廃棄物

【排出量】
H32 目標：3,558 千 t

【リサイクル率】
H32 目標：60%

【最終処分量】
H32 目標：90 千 t

資源循環型社会システムの形成
(廃棄物の発生抑制)

資源の循環を担う産業の振興
(循環型産業の支援)

廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減
(廃棄物の適正処理の推進)

【施策1 廃棄物発生抑制及び再使用を優先する3Rの推進】
○ごみゼロやまがた県民運動、やまがた環境展2019による3R推進の普及啓発 [やまがた環境展来場者数：22,000人以上]
○環境にやさしい料理レシピコンテストによる食品ロス削減の意識啓発 [コンテスト応募数：60件]
○「もったいない山形協力店」の募集・登録による食品ロス削減 [登録数：200事業所]
●食品ロス削減シンポジウムの開催 [参加者数：100名]

【施策2 3Rに係る人材育成等総合的な施策の展開】
○環境学習・環境教育の充実による人材の育成 [山形県環境学習支援団体認定数：40団体]
○リサイクルシステム認証制度による循環システム形成の推進 [年度末認証数：977件]

【施策3 循環型産業の育成強化】
○3R研究開発事業への支援 [補助事業総額：20,463千円]
○リサイクル施設等整備への支援 [補助事業総額：30,381千円]

【施策4 循環型産業の市場拡大】
○リサイクル製品の認定 [年度末認定数：58製品]
○リサイクル製品等の販路拡大に向けた普及促進の支援 [補助事業総額：1,000千円]

【施策5 産業ニーズに合致した循環型産業の展開】
○3R推進環境コーディネーターによる企業の環境に関わる事業活動への支援 [年間訪問件数：250件]

【施策6 循環資源の総合利用の推進】
○木質バイオマス燃焼機器設置への支援 [補助事業総額：37,200千円]

【施策7 廃棄物の適正処理の推進】
○産業廃棄物の排出者、処理業者、処理施設に対する立入検査や行政検査の実施 [行政検査：最終処分場放流水等検査15施設、産廃採取検査5施設、産廃焼却施設排ガス検査11施設]
○PCB廃棄物の早期処理に向けた掘り起こし調査の実施 [立入対象：約2,000事業所]
[アンケート対象：約38,000事業所]

【施策8 廃棄物の不法投棄の防止】
○パトロールによる不法投棄の未然防止、不法投棄防止対策協議会への支援 [4地域の協議会への支援を実施]
○地域住民参加型の回収では困難箇所の原状回復 [原状回復未済箇所数：13箇所]

【施策9 海岸漂着物等の回収処理及び発生抑制の推進】
○沿岸部における清掃美化活動に対する支援 [海岸等清掃ボランティア参加者数：3,000人以上]
○若者ボランティアリーダーの育成 [学生応援クリーンアップ作戦参加者数：180人]
○スポーツごみ拾いの実施 [8回開催]

【施策10 災害時の廃棄物処理体制の構築】
○市町村災害廃棄物処理計画策定の支援 [研修会・ワークショップの開催：3回]

1 計画の推進体制

①県における推進体制
・県環境審議会環境計画管理部会
・環境やまがた推進本部廃棄物減量化・リサイクル推進専門部会

②市町村との連携
・地域循環検討会議（各総合支庁、管内市町村で構成）

③県民・事業者との協働
・ごみゼロやまがた推進県民会議（県民部会、産業部会で構成）

2 計画の進行管理

- ・年次別実施計画の作成
- ・県循環型社会白書の作成
- ・PDCAによる継続的な改善

※ ●は新規事業